

# INFOPRO 2008

## 第5回情報プロフェッショナル シンポジウム

**会期** 2008年11月13日(木)～ 14日(金)

**会場** 日本科学未来館 7階  
(東京都江東区青海2-41)

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

**主催** 独立行政法人 科学技術振興機構

Japan Science and Technology Agency(JST)

**社団法人** 情報科学技術協会

Information Science and Technology Association(INFOSTA)

**後援** 専門図書館協議会

特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

財団法人 日本情報処理開発協会

社団法人 日本図書館協会



# INFOPRO 2008 タイムテーブル

2008年11月13日(木)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
13:00~14:55	セッションA1 特許情報1 (座長:徳野 肇)	セッションB1 電子情報資源 (座長:土谷 久)	セッションC1 情報の組織化・活用 (座長:山崎久道)
13:00~13:25	A11 技術開発者のための特許マップ解析	B11 NLM-DTD XMLを利用した電子ジャーナル出版	C11 法教育のための法の可視化
13:30~13:55	A12 特許情報の分析・評価支援	B12 オープンアクセス論文のインパクト	C12 図書館分類法における経済学概念の構造
14:00~14:25	A13 R&D効率アップの特許情報活用	B13 日本語オープンアクセス誌データベース「Directory of Open Access Journals in Japan」の構築と提供	C13 耐熱材料に関するWeb情報の活用
14:30~14:55	A14 化学分野における特許文献情報解析ツールの有効活用	B14 国内発行の科学技術資料の電子化状況	
14:55~15:15	休 憩		
15:15~15:30	換 拶		
15:30~17:00	特別講演 どうする日本の知財戦略		
17:30~19:30	情報交流会(於:レストラン)		

2008年11月14日(金)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
10:00~12:30	トーク&トーク どうするインフォプロ! —人材育成および利用者教育—		
14:00~15:25	セッションA2 情報システムの構築1 (座長:山本 昭)		
14:00~14:25	A21 科学技術総合リンクセンター(J-GLOBAL)の実現に向けた取り組み	B21 署名Webサービスの提案	14:00 P01 NPO 医学中央雑誌刊行会
14:30~14:55	A22 KAKEN $\beta$ と研究者リゾルバー $\alpha$ の情報構造	B22 インターネット/ビジネス分科会の新たな挑戦	14:15 P02 エルゼビア・ジャパン株式会社
15:00~15:25	A23 リンクリゾルバの多面的活用	B23 中規模企業における特許出願と企業利益の傾向比較	14:30 P03 社団法人 化学情報協会
15:30~15:40	休 憩		
15:40~17:05	セッションA3 特許情報2 (座長:徳野 肇)	セッションB3 情報システムの構築2 (座長:木村美実子)	プロダクト・レビュー2 (司会:田村紀光)
15:40~16:05	A31 特許情報と文献情報の統合解析による技術情報可視化の試み	B31 医中誌WebからOPAC、リンクリゾルバへのリンクの現況	15:00 P04 独立行政法人 科学技術振興機構
16:10~16:35	A32 各種データベースにおけるアジア特許情報の比較	B32 WAMPIによるイントラ用資料室ホームページ搭載データベースの運用と作成	15:40 P05 国立情報学研究所
16:40~17:05	A33 日本語で検索できる特許データベースの検証	B33 原子力機構研究開発成果管理システムの構築・改良	15:15 P06 株式会社サンメディア
			15:40 P07 株式会社ジー・サーチ
			15:55 P08 トムソン・ロイター サイエントフィック事業部
			16:10 P09 ProQuest
			16:25 P10 ユサコ株式会社

第1日目 11月13日(木)

A会場 みらいCANホール

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションA1 ..... 特許情報1  
座長 徳野 肇 ((株)三菱化学テクノロジー)

演題A11 技術開発者のためのパテントマップ解析  
- 特許調査・解析、そして群管理の段階へ -  
インパテック(株) 有賀 康裕

演題A12 特許情報の分析・評価支援  
- 「termmi」と統計解析言語Rによる特許情報の可視化(2) -  
花王(株) 安藤 俊幸

演題A13 R&D効率アップの特許情報活用  
- 書誌ブーリアン系-俯瞰可視化系-マップ系の連携活用研究 -  
INFOSTA-SIG-パテントドキュメンテーション部会  
(株)帝人知的財産センター ○桐山 勉  
日科情報(株) 長谷川正好、田中 宣郎  
はやぶさ国際特許事務所 川島 順  
大阪工業大学 都築 泉  
(財)日本特許情報機構 藤城 享、玉置 研一  
田中貴金属工業(株) 藤嶋 進  
パトリス(株) 濱崎 聡子

演題A14 化学分野における特許文献情報解析ツールの有効活用  
- STN AnaVistの活用事例 -  
日産化学工業(株) ○大島 優香  
三井化学(株) 望月 聖子  
(株)住化技術情報センター 法宗布美子  
日本農薬(株) 黒田 潔

14:55~15:15 休憩

15:15~15:30 挨拶 独立行政法人 科学技術振興機構 理事長 北澤 宏一  
社団法人 情報科学技術協会 会長 立花 肇

15:30~17:00 特別講演 どうする日本の知財戦略

講師 荒井 寿光 知財評論家

17:30~19:30 情報交流会 会場: レストラン

**B会場 会議室2**

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55	セッションB1	.....	電子情報資源
	座長	土谷 久	(ノバルティスファーマ)

**演題B11** NLM-DTD XMLを利用した電子ジャーナル出版  
 (社)日本化学会 ○林 和弘、中谷 敏幸  
 太田 暉人

**演題B12** オープンアクセス論文のインパクト  
 - 日本化学会の事例 -  
 (社)日本化学会 ○林 和弘、太田 暉人  
 東京大学 小川桂一郎

**演題B13** 日本語オープンアクセス誌データベース「Directory of Open  
 Access Journals in Japan」の構築と提供  
 実践女子大学図書館 ○伊藤 民雄  
 iNEO(株) 竹井 弘樹

**演題B14** 国内発行の科学技術資料の電子化状況  
 - JST収集誌についてのインターネット調査報告 -  
 独立行政法人科学技術振興機構 ○吉田 敏也、佐藤 恵子  
 堀内 美穂、頼母木浩一

**C会場 会議室1**

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:25	セッションC1	.....	情報の組織化・活用
	座長	山崎 久道	(中央大学)

**演題C11** 法教育のための法の可視化  
 名城大学大学院 清水 勇喜

**演題C12** 図書館分類法における経済学概念の構造  
 中央大学大学院 山本 一治

**演題C13** 耐熱材料に関するWeb情報の活用  
 - 各種の情報の連携によって得られる新たな知見 -  
 独立行政法人物質・材料研究機構 ○芳須 弘、原田 幸明  
 藤田 充苗

# 特別講演

## どうする日本の知財戦略 — 知識社会化の中で日本が生き残るために —

11月13日(木) 15:30~17:00

講師 荒井 寿 光(あらい・ひさみつ)

知財評論家(東京中小企業投資育成(株) 社長)

1944年長野県生まれ。

東京大学法学部卒業、米国ハーバード大学大学院修了。

1966年に通商産業省(現・経済産業省)に入省後、機械情報産業局次長、防衛庁装備局長、特許庁長官、通商産業審議官等を歴任。

2001年退官後、日本初の「知財評論家」を名乗り、知財立国推進に向けての活動を開始。

2003年より06年まで初代内閣官房・知的財産戦略推進事務局長。

世界知的所有権機関(WIPO)政策委員、日本弁理士会外部意見聴取会委員長、総合科学技術会議専門委員、東京理科大学客員教授も務める。

著書に「知財革命」「知財立国」「特許戦略時代」などがある。



### ・講演概要

人類の歴史は、農業社会から工業社会を経て知識社会に移行している。そこでは、情報をはじめとする知的財産が決定的に重要な役割を果たす。7月の洞爺湖サミットにおいて「知的財産権の効果的な促進及び保護は、創造的な製品、技術及び経済の発展にとって極めて重要である」と首脳レベルで合意するまでに至った。

日本は明治維新以来、欧米からの技術輸入によって近代工業を興し、世界第2位の経済大国にまで成長したが、21世紀においては独創的な自主技術開発で、文明の進歩に貢献しなければならない。今や技術情報の収集・活用活動が、企業や大学・研究所の死命を制するほどになっている。知財戦略も、特許を取るだけの「プロ・パテント」から、特許を活用して技術革新と実用化を進める「プロ・イノベーション」に進化させたものが新時代の勝者になる。

知財戦略の流れを振り返るとともに、世界特許・国際標準・医療特許・デジタルコンテンツなどの新たな課題を展望する。

# トーク&トーク

## どうするインフォプロ！ — 人材育成および利用者教育 —

11月14日(金) 10:00~12:30

インターネットの検索エンジンやコンテンツが進化して文献検索までできるようになってきました。インターネットで検索すれば何でも出てくるという意識が、一般に強まっているといえます。しかし果たしてインターネットは万能でしょうか。

コンピュータによる情報検索についてみますと、大型コンピュータで情報を搜していた時代から PC 利用に移り、さらにインターネットに移っています。今後は携帯電話などの携帯端末を利用した検索がより重要な役割を担っていくのかもしれませんが、いまの時代は、著しく変化してきたそれぞれの時代のメディアを効果的に活用したインフォプロが同居している時代、とも言えるのではないのでしょうか。

メディアの変遷に伴って、データベースや情報検索の概念は変化しており、情報の最終利用者の情報活用行動にも種々の影響を与えています。このようにインフォプロを取り巻く環境は、著しく変わりつつあるといえましょう。

このような変化の中でインフォプロは、高度な検索を遂行できる技術を身につけるだけでなく、エンドユーザーの教育・研修を行う必要にも迫られています。また一方で、電子ジャーナル等を契約するための知識、個人情報取り扱いに関する法律の知識など、従来に比べ幅広い知識を身につけないと組織のなかで職務がこなせない時代となってきました。交渉力、マネジメント力、プレゼンテーション能力も要求されています。

これからの時代、インフォプロとして何をしていくべきなのでしょう。どのようにインフォプロを育てて行けばよいのでしょうか。利用者にはどのような情報サービスを提供し、そしてどのように対応すればよいのかについて悩んでいるインフォプロは、多いのではないのでしょうか。

今回の「トーク&トーク」では、私たちに共通の課題であるインフォプロの人材育成や利用者教育を考えてみたいと思います。現場で実務の傍らこの問題に取り組んでおられるベテランの方々に話題提供をお願いし、各組織での現状と課題をお話しいただきます。それを受け、課題解決に向けてフロアの皆様とフリートークを進めていきます。

活発な議論で、元気の出る「トーク&トーク」にし、インフォプロの今後が少しでも見えればと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

### 話題提供者

近藤 一志氏 (株式会社東芝 研究開発センター 図書館)

佐藤 和代氏 (アサヒビール株式会社 研究開発戦略部)

下川 公子氏 (味の素株式会社 知的財産部)

松谷 貴己氏 (日本化薬株式会社 知的財産部)

### コーディネーター

山崎 久道氏 (中央大学)

第2日目 11月14日(金)

**A会場** **みらいCANホール**

は会場発表者、敬称略

10:00~12:30 **トーク&トーク**  
**どうするインフォプロ!** - 人材育成および利用者教育 -

14:00~15:25 **セッションA2** . . . . . **情報システムの構築1**  
座長 **山本 昭** (愛知大学)

**演題A21** **科学技術総合リンクセンター(J-GLOBAL)の実現に向けた取り組み**  
- JSTの情報資源とノウハウを活用した新たなサービスの紹介 -  
独立行政法人科学技術振興機構 **松邑 勝治、黒沢 努**  
**関根 基樹、植松 利晃**  
**大倉 克美**

**演題A22** **KAKEN と研究者リゾルバー の情報構造**  
- KAKEN 1.12と研究者リゾルバー 1.12 -  
国立情報学研究所 **蔵川 圭、武田 英明**  
**相澤 彰子**  
新領域融合研究センター **高久 雅生**

**演題A23** **リンクリゾルバの多面的活用**  
- 外部アプリケーションからリンクリゾルバを利用する -  
農林水産省農林水産技術会議事務局 **林 賢紀**

15:25~15:40 **休憩**

15:40~17:05 **セッションA3** . . . . . **特許情報2**  
座長 **徳野 肇** ((株)三菱化学テクノロジー)

**演題A31** **特許情報と文献情報の統合解析による技術情報可視化の試み**  
- 研究開発戦略、事業戦略におけるその有効性 -  
エヌ・アール・アイ・サイバーパテント(株) **中居 隆**  
独立行政法人科学技術振興機構 **坂内 悟、山口 祐穂**  
**中谷 泉**

**演題A32** **各種データベースにおけるアジア特許情報の比較**  
(社)化学情報協会 **邊 玲美、船戸奈美子**

**演題A33** **日本語で検索できる特許データベースの検証**  
- 韓国特許データベースについて -  
東亜合成(株) **前田 佳治**  
JSR(株) **伊藤 徹男**

10:00

トーク&amp;トーク「どうするインフォプロ！」(A会場)

12:30

14:00~15:25	セッションB2	情報サービス・活用 座長 手塚 久男(株)東芝)
-------------	---------	-----------------------------

**演題B21 署名Webサービスの提案**

- 暗号便PKIを用いたユビキタス署名の実現 -  
(株)カオスウェア

梅野 健、寺井 秀明  
高 明慧**演題B22 インターネット/ビジネス分科会の新たなる挑戦**

- マイクロ燃料電池の新規用途開発のためのプロセス試行 -  
INFOSTA-OUG インターネット/ビジネス分科会  
(有)テル・リサーチ  
リスト総合事務所

高橋 昭公  
渡邊 晃**演題B23 中規模企業における特許出願と企業利益の傾向比較**

- 研究論文とのかかわりと発明者の傾向の観点から -  
大阪工業大学

都築 泉

15:25~15:40 休憩

15:40~17:05	セッションB3	情報システムの構築2 座長 木村美実子(科学技術振興機構)
-------------	---------	----------------------------------

**演題B31 医中誌WebからOPAC、リンクリゾルバへのリンクの現況**

特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会 黒沢 俊典、松田 真美

**演題B32 WAMPによるイントラ用資料室ホームページ搭載データベースの運用と作成**

- 図書DBの運用経験と雑誌DBへの拡大の試み -  
INFOSTA-SIG Webサイト研究部会

東レ(株) 真銅 解子  
住ベリサーチ(株) 粟田 僚一  
Webサイト研究部会コアパーソン 橋田 昌明**演題B33 原子力機構研究開発成果管理システムの構築・改良**

- 外国人研究者にも使いやすいシステムを目指して -  
独立行政法人日本原子力研究開発機構

(株)トータル・サポート・システム 権田 真幸、池田 貴儀  
野澤 隆  
海老澤直美

## C会場 会議室1

10:00

トーク&トーク 「どうするインフォプロ！」(A会場)

12:30

14:00~15:30 プロダクト・レビュー1

司会: 田村 紀光((社)情報科学技術協会)

- P01 医中誌Web 最新情報  
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会
- P02 Reaxys(リアクシス) - 化学者のための新しいファクトデータベース  
Innovation from CrossFire Beilstein  
エルゼビア・ジャパン株式会社
- P03 JAICIが提供する目的・利用者別科学技術情報検索サービス  
社団法人化学情報協会
- P04 文献データベースの新しい活用方法  
独立行政法人 科学技術振興機構
- P05 日本の学術研究成果を発信する - GiNiiとSPARC Japan -  
国立情報学研究所
- P06 情報マネジメントツールの最新トレンド  
株式会社サンメディア

15:30~15:40 休憩

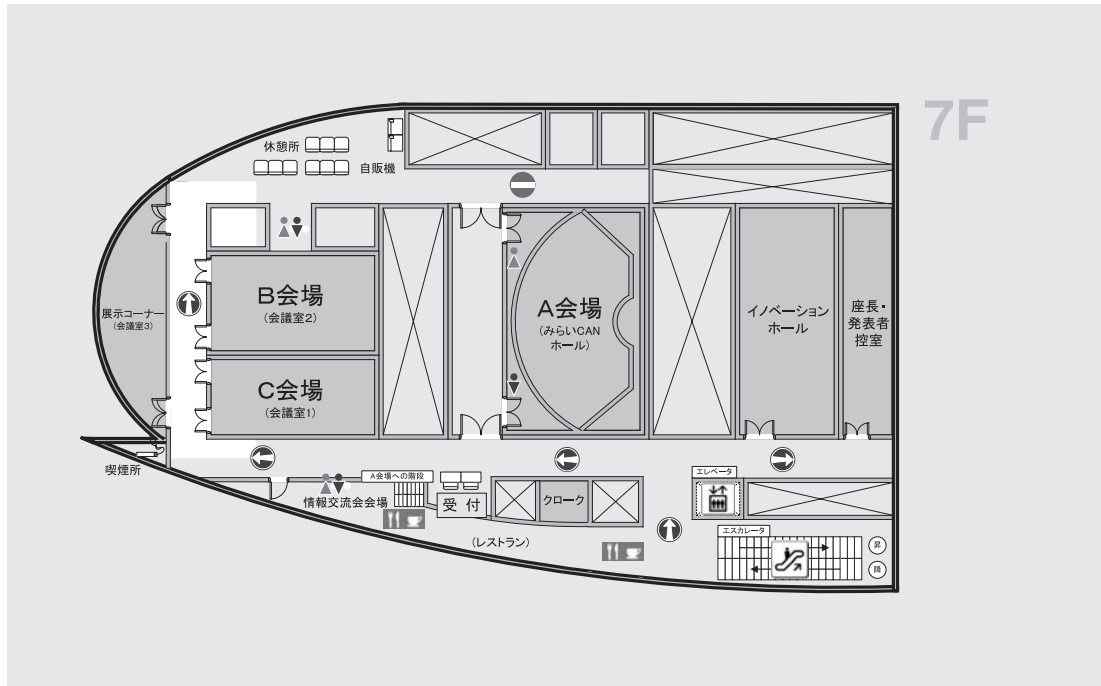
15:40~16:40 プロダクト・レビュー2

司会: 田村 紀光((社)情報科学技術協会)

- P07 国内・海外のシームレスな特許監視を実現「フォーカスサービス」  
株式会社ジー・サーチ
- P08 知財総合ソリューションThomson Innovation(日本語インターフェース版)  
トムソン・ロイター サイエントフィック事業部
- P09 ビジネスに必須の情報収集戦略 ~ 新世代リサーチツールの活用法 ~  
ProQuest
- P10 情報検索と図書館ポータル - Primoの検索機能 -  
ユサコ株式会社

# 会場案内図

日本科学未来館 7階 (1階エレベーターをお使いください)



## A会場 (miraiCANホール)

- 特別講演
- トーク&トーク
- 研究・事例発表

## B会場 (会議室2)

- 研究・事例発表

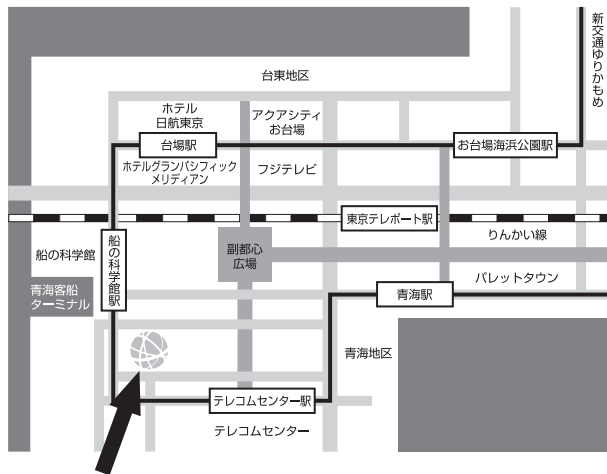
## C会場 (会議室1)

- 研究・事例発表
- プロダクトレビュー

## 展示コーナー (会議室3)

# 会場へのアクセス

東京都江東区青海2丁目41番3



### 電車

■ 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

■ 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)

「東京レポート駅」下車、徒歩15分

### 都バス

■ JR浜松町駅より

虹01 (浜松町駅～国際展示場前駅) 「日本科学未来館前」下車

■ 東京メトロ東西線門前仲町駅より

海01 (門前仲町～東京レポート駅前) 「日本科学未来館前」下車

### 京急バス

■ JR大井町駅より

井30 (大井町駅～船の科学館前) 「船の科学館前駅」下車

■ JR大森駅より

森30 (大森駅～大森海岸線～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

森40 (大森駅～平和島駅～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

### 船

■ 水上バス

(日の出桟橋～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

(しながわ水族館～大井海浜公園～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

### 車

■ 横浜・川崎・大井・品川方面

首都高速湾岸線 東京湾トンネル通過後、13号地ランプより1.2Km

■ 箱崎(都心)・小管・千梨方面

首都高速湾岸線 有明ランプより直進3Km

■ 竹芝・芝浦方面

首都高速11号線 台場ランプより約2Km

臨港道路(レインボーブリッジ下層)を通り、台場出口より約1.8Km

□参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講：一般：6,300円 学生：2,100円（消費税込み）

情報交流会：4,200円（消費税込み）

□参加申込み方法

参加申込受付フォーム (<http://www.dicalpha.net/infopro/>) もしくは別紙の「参加申込用紙」でお申し込みください。

---

独立行政法人  
**科学技術振興機構**  
Japan Science and Technology Agency (JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3  
研究基盤情報部 調査普及課  
TEL : 03-5214-8406 FAX: 03-5214-8420

社団法人  
**情報科学技術協会**  
Information Science and Technology Association  
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7  
佐佐木ビル  
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793  
E-mail : [sympo@infosta.or.jp](mailto:sympo@infosta.or.jp)

\*お申込みに関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。  
INFOPRO受付担当 TEL : 03-5391-2174 FAX : 03-5391-2232 e-mail : [infopro@dic-a.com](mailto:infopro@dic-a.com)

参加申込は、  
以下の参加申込受付フォーム  
<http://www.dicalpha.net/infopro/>

プログラムは、  
以下のINFOSTAホームページ  
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2008program.html>